

MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE

MPM

2022
SUMMER
AUTUMN
VOL.17

むさしのパークライフマガジン

YOUR PARK LIFE : Park Life × きのこ

FOCUS : 蜂須賀レンジャーに聞く!

公園で出会える
野生きのこの正しい楽しみかた

公園からはじまる、気持ちのいい一日。

季節を感じ、ほっとできる場所。

なにもしない、贅沢な時間。

……きっと、公園で過ごす時間は暮らしを豊かにする。

私たちは、そんなことを思っ日々公園で働いています。

公園を使いこなすと、どんなライフスタイルが待っているのか。

この「MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE」では、

ちょっと素敵な自然のこと、

いままで気づかなかった生きものの不思議、

暮らしを豊かにする公園の使いこなし方、などなど。

公園で働く私たちだからこそお届けできる、

“パークライフ (Park Life)”の魅力をお伝えしていきます。





きのこの特徴ごとに
公園にいる仲間を紹介します！

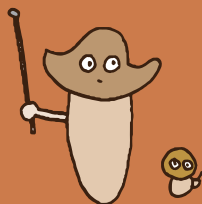
Park Life

×

きのこ

きのこって
ナニモノ!?

きのこは
生態系の名脇役!!



雑木林の木の下や落ち葉の重なった上、

朽ちた切り株の横から

ちょこんと顔を出す森の妖精たち。

公園で出会えるきのこの世界にハマってみよう！



イボ
しい

だげど憎めない〜!

このイボ、
実は発泡スチロールばりに
フニフニなのだ。

シロオニタケ

野生のきのこというと、深い森の中に生えているイメージですが、雑木林の多いむさしの公園では、あちこちから野生のきのこがひょっこり顔を出して、その空間をなにかメルヘンの世界に変えてくれます。

でも、このコたち、ただかわいいだけではありません。

植物や生態系にはなくてはならない役割をになっている縁の下の力持ちだったりするのです。

そんなかわいくて、不思議な力を持ったきのこをもっと詳しく見てみましょう!



雑木林の斜面に突然現れた、

白くてイボイボなきのこ。

きのこは、植物でも動物でもない「菌類」。

私たちがきのこと呼んでいる部分は、

地中に張り巡らされた菌糸のごく一部が成長したもので、
植物でいえば果実や花のようなもの。

このシロオニタケも一年のほとんどを

地中の菌糸として生活し、いま胞子を飛ばすために、
地上に顔を出したところです。

きのこの特徴：森の名パイプレイヤー

／キュートで個性的！／
**目立ちたがりな
きのこたち**

公園に現れるきのこには
珍しい生態や独特な色や形を
持つものがたくさん。

レースをまとった
バレリーナのように？

キノガサタケ

初夏の頃、孟宗竹の
竹林の中に突然現れる
バレリーナのような妖精さん。
匂いで虫を呼んで、アミアミで
動物などにアプローチしていると
考えられます。朝早くに出て5時間
くらいで倒れてしまう儂い美しさなのです。

グミのようなぶにぶに感が
たまりません!

ツノマタタケ

雨上がりなどに古いベンチ
や倒木からきれいに並んで
出てくるキクラゲのなかま。



ヒイロ ベニヒダタケ

森のはずれに長い間
放置された朽木などから、
「私を見て!」と
顔を出します。



ヘンナ
カタチ?

アミガサタケ

蜂の巣のようなこの姿は、
表面積を広くして胞子を
できるだけたくさん
飛ばすため。



編笠? 蜂の巣? 宇宙人? ?

きのこの中には、びっくりするほど鮮やかな色や

「それ必要!？」ってくらい、複雑な形や構造のものがあります。

きのこは、植物のタネに当たる「胞子」を飛ばすために菌糸が集まって出てきたもの。

そしてとにかく目立ちたい! 目立った色や形で動物や虫たちに何かしらのアクションを起こさせ、
胞子を遠くに運んでもらうためにそんな進化をしたのだと考えられています。

美形だったり、お調子者だったり、キモかわいかったり。

普段過ごしている公園で出会うと嬉しい気持ちになることうけあいです!

タマゴタケ

最初は白いたまごのような形から赤くて
まあるい写真のようなきのこが現れます。
さらにかさを大きく広げると、
柄と傘の裏は黄色！変身
上手な森の人気者です。

つるんっ

つるんとかわいい
きのこのアイドル！

きのこの特徴：森でのお仕事その①

＼ 木とラブラブ ♡ ／

木と助け合う
なかよし妖精

地下で木の根と繋がって、
お互いに必要な養分を交換して
成長しています。



どどんっ

まるで巨大なメロンパン!
公園ではレアなきのこ

アカヤマドリ

ベルベットような
ふわふわ衣装がステキ!



ふわっふわっ

夏から秋にかけて
比較的によく公園で見つけられます

フクロツルタケ



ハエローハットの吟遊詩人

てっぺんの突起が
チャームポイント♪

キイボカサタケ



キット
ツナガル♡

胞子を飛ばすために現れるきのこの本体は、地中に張り巡らされた糸状の菌糸。その菌糸が生きていく方法は大きく分けて2種類。

菌糸を木の根と一体化させ、水や養分を吸収するお手伝いをする代わりに、植物が光合成で作った栄養をもらって成長する「木となかよしのきのこ」。もう一つは、枯れ木や落ち葉などを腐食させて養分をもらう「お掃除きのこ」。このページのきのこは、木となかよしのきのこたち。地中で菌糸を伸ばし、木やランなどの植物の根と共生して森の木々を元気にする役割をになっています。だから木の周りに現れて、森を絵本のような楽しい空間に変えてくれます。

きのこの特徴：森でのお仕事その②

／ 落ち葉が土に変身！ ／
森のおそうじをする
キレイ好き妖精

枯れ木や落ち葉から現れたきのこは、
硬い木や葉っぱを柔らかく腐らせて、
土に戻すお手伝いをしています。

もふっもふっ！

のほほんとした風貌が
キュンとなるかわいさ

ノウタケ

食パンかはんぺんのような存在感で
落ち葉の上にふわっぽてっと現れ、そっと
触るとパウダー状の胞子をばふんと飛ばします。

キレイズキ
ナンデス



きのこが生きていくもう一つの方法は、枯れ木や落ち葉を腐らせて栄養をとる方法です。動物だけでは分解できない植物の硬い体を分解できるのはきのこだけ！菌糸が入り込んで、柔らかく分解して土に戻します。その過程でできた養分できのこは成長するのです。主に朽木を分解するきのこや枯葉を分解するきのこ、中には椿の花だけ分解するなど、お掃除の担当者が細かく決まっています。

森が、落ち葉や枯れ木で埋まってしまうのは、きのこの菌がお掃除をしているからなのです。

ハナオチバタケ

公園の植え込みの下など、落ち葉が溜まった場所から出ていることがあります。オレンジ色の方が多くムラサキ色はレア。



枯葉から花が咲いたように
可憐なきのこ



どんぐりそっくり!

エリマキツチグリ

表皮が割れて、「クリ」部分の中心から胞子がバフッと発射されます。

クロシワ オキナタケ

成熟するとシワシワのおじいちゃんみたいなきのこの赤ちゃん時代。表皮がゼリー状になって、きのこを守っています。





蜂須賀レンジャーに聞く！
公園で出会える
野生きのこの
正しい楽しみかた



きのこたちは、木の生育を助けたり、朽木や落ち葉をお掃除したりする

公園の生態系の大切なメンバーです！

公園にはこうしたきのこの生態を含め、自然環境の保全や調査を行うパークレンジャーがいます。

きのこをこよなく愛するパークレンジャー・蜂須賀公之さんに

公園できのこに出会う方法を伺いました。

公園できのこに出会う方法

きのこは、樹木など植物と共生する木となかよしのきのこ「菌根菌」と、朽木などを分解して森のお掃除をしている「腐生菌」の二つに大きく分けられます。

その特徴を踏まえて、見つけやすい環境の場所を公園の中で探すと、割と簡単に珍しいきのこにも出会えます。

きのこのシーズンは秋というイメージがありますが、

桜が散った後の木の下でよく見られるアミガサタケ(P7)や、

初夏に見られるキヌガサタケ(P6)などシーズン限定で現れるきのこもあります。

また水分や湿気をはむため、水辺や雨上がりに探してみるなど、

場所やタイミングを変えて、自然をよく観察しながら探すのもきのこ探しの醍醐味です。

POINT

1

雑木林

雑木林に多いクヌギ、コナラ、アカマツには菌根菌がよくつきます。7～9月ごろが特に多く、斜面など少し開けた場所を探すと見つかります。

タマゴタケ(P8)、アカヤドリ(P9)、フクロツルタケ(P9)、ベニタケ類、イグチ類など

POINT

2

切り株

腐生菌のサルノコシカケの仲間(硬いきのこ)がよく見られます(カワラタケ、カイガラタケ、ホウロクタケなど)。またクリタケ、ヒラタケ、キクラゲ(P7)などが出ることもあります。

POINT

1

雑木林の中で
見られるきのこ

公園できのこを見つけた時は

きのこは、食べられるものと食べると毒性のあるものの区別が難しいことで知られています。中にはカエンタケのように触るだけで強い毒性があるものもあります。

むさしのの都立公園には、生態系を守るという役割もあり、人と生態系の共存のために人が手を加えるべきところには加え、放置すべきところは放置しています。きのこに関しても毒性があるものすべてを取り除いてはけません。

きのこの生態系における役割も理解して、公園で見つけたきのこは採取せず、その場で写真を撮影するなどの観察を楽しんでください。



蜂須賀公之 はちすか まさゆき

NPO 法人 NPO birth 理事 / レンジャー・環境教育部長。
初代東京都レンジャーとして、奥多摩、高尾の国立、国定公園を管理後、東京都指定管理者として都立公園を管理。
主にインタプリテーション、環境教育、環境保全にあたる。
今回の特集の写真・イラスト・監修のすべてを担当。

POINT

2

切り株から
現れるきのこ

POINT

4

芝生の中から
顔を出すきのこ

POINT

3

落ち葉の上から
現れるきのこ

POINT

4

芝生

POINT

3

落ち葉の上

腐生菌であるハナオチバタケ(P11)、モリノカレバタケなど小さなきのこ、繊細なきのこの観察にはいいポイントです。ノウタケ(P10)、エリマキツチグリ(P11)、ムラサキシメジなどの大きなきのこ、個性的なきのこも出ます。

菌根菌は落ち葉や枯れ枝の溜まっていないきれいな場所が好きなので、木が近くであれば、イグチ類やベニタケ類などが出てきます。ヒトヨタケ、ヒメホコリタケ、ハラタケなど、枯れた芝生を分解する腐生菌も多く、芝生は公園できのこを探すには、意外にいいポイントです。

蜂須賀レンジャーの 自然をもっと感じる アドバイス

今回、きのこの紹介を
してくれた蜂須賀レン
ジャーは、自然からの
メッセージを感じると
手助けをする「インターブ
リター」というお仕事をし

ています。直訳すると「解釈者・翻訳者」という意味
ですが、蜂須賀レンジャーによると「自分の自然の見
方を説明するのではなく、例えば誰かが木漏れ日が
きれいだなと感じた時に、それはあなたにとって大切
なことだと気づかせる仕事」なのだそうです。「僕をぐっ
と自然に引き寄せて、人生を変えてくれたのは、きの
こだったかもしれません。虫が好きな人も、花が好き
な人もいるでしょう。何であれ、生き物が一つの世界
で生きる姿には、人が生きるための答えがあると思う
のです」と言います。

そんな蜂須賀レンジャーの自然への愛情が詰まった
1冊が『ハチスカ野生食材料理店』です。野生のきの
こや野草・小魚などを材料に、感性と風景の融合とも
いうべき一皿を作り、それにまつわる友人たちと自然
との交流が詩的な言葉で綴られています。

「ハチスカ野生食材料理店」 (小学館)

アウトドア雑誌「BE-PAL」に7年間
掲載された人気連載をまとめた1冊。
きのこをはじめとして、蜂須賀レン
ジャーが自然から受け取った喜びや
感動が写真・文章・料理のすべて
から伝わってきます。



レンジャーミニ図鑑 武蔵野の公園で見られるきのこ

「むさしの都立公園」で見られる花や昆虫・野鳥などの生きものを
パークレンジャーがまとめたミニ図鑑。現在は25種類あり、
季節に合わせて各公園の管理所で無料配布しています。

また、公園で配布されているレンジャーミニ図鑑も蜂
須賀レンジャーが作ったものが見つかります。
愛してやまないきのこの他にも、どんぐり、冬芽、野鳥、
へび・トカゲ・カメなど。公園を巡回して自然環境
を観察している蜂須賀レンジャーが、生き物や風景
に対する尊敬と愛情を込めて写し取った写真が使わ
れています。

蜂須賀レンジャーからのメッセージ

自然は、特別などどころに行ったから特別
なものがあるのではなく、近くの公園
にも近所の草むらにもある。ただ空を
眺めるだけでもいい。誰かに用意され
たものではなく、自分自身が何を感じ
とるかが一番大事なこと。

レンジャーミニ図鑑の
ダウンロードは
こちら



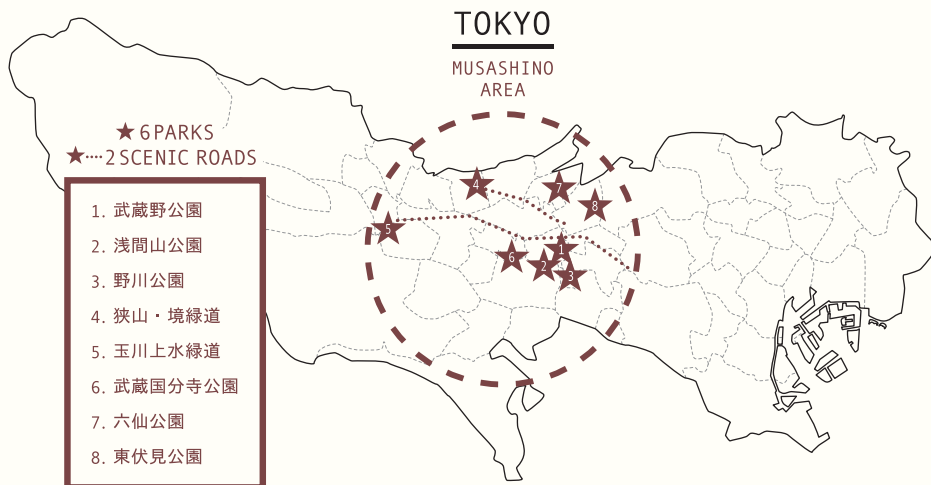
むさしのの都立公園

国分寺崖線や玉川上水など、水とみどり豊かな「武蔵野エリア」にある8つの都立公園です。

指定管理者「西武・武蔵野パートナーズ」は「人・自然・まちが元気になる公園に」をコンセプトに、武蔵野の自然と文化を大切にしながら、みなさんとともに、元気になる公園づくりをすすめています。

西武・武蔵野パートナーズ構成団体：

西武造園(株)・NPO法人NPO birth・ミズノスポーツサービス(株)・(一社)防災教育普及協会



発行：西武・武蔵野パートナーズ TEL:0422-31-6457(都立野川公園) <http://musashinoparks.com>

発行日：2022年8月10日

写真：NPO法人NPO birth

監修・写真・イラスト：蜂須賀 公之 P4~14

デザイン：川上 明子

イラスト：古結あかね P12~13

編集・製作：西武・武蔵野パートナーズ / はけの道編集室 (合同会社ニーヨリー)

印刷・製本：シナノ書籍印刷株式会社

表紙写真/都立武蔵国分寺公園 (撮影：中倉美奈子)

MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINEのバックナンバーは、むさしのの都立公園のHPで見ることができます。
<http://musashinoparks.com/magazine/>



MUSASHINO
PARK-LIFE
MAGAZINE

SEIBU・MUSASHINO PARTNERS

<http://musashinoparks.com>